

# 自動車運動性能の基礎とフィーリング評価

日時  
2018年 5月31日 (木)  
10:30 ~ 16:30

## 税込受講料

1名 48,600円  
2名以上1名 45,360円

## 案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分  
JR中央線(緩行線)  
地下鉄東西線(A5出口)  
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)  
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

## <お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

**講座概要** 自動車走行に関わる快適性、安全性に対するユーザニーズの高まりと共に、自動ブレーキやレーンキープサポートシステム等のドライバーサポートシステムの高度化と進歩は、目覚ましいものがあります。そして、今後さらに自動運転システムも視野に入れ、電動駆動の拡大や、ITSと運動したより一層の先進安全自動車の研究開発が進展すると思われます。

今回のセミナーは、あらゆるサポートシステム搭載においても“走り”のベースとなる、車両運動性能解析の基礎から人間-自動車系としてのフィーリング評価までを詳しく解説指導致します。それぞれ直感的にイメージできるよう図表を用いてわかりやすく解説致します。

**講師** 玉川大学 工学部 名誉教授 工学博士 菅沢 深氏  
(元)日産自動車(株) 総合研究所車両研究所 シニアリサーチャ

## プログラム

- ・イントロダクション
    1. 車の前後運動と横運動(旋回)との違い
    2. 操安性解析で重要なこと
  - ・タイヤ
    1. 言葉の定義
    2. 運動の元となる力
    3. 力の発生メカニズム
    4. 力の非線形特性
    5. その他
  - ・車両運動性能解析の基礎(伝達関数による方法)
    1. 言葉の定義運動方程式および伝達関数
      - a. 二輪モデル
      - b. 基礎方程式
      - c. 運動方程式の物理的意味
      - d. 伝達関数
    2. 操安性の評価手
      - a. 2次遅れ系としての見方
      - b. スタビリティファクタ/アンダーステア/オーバーステア
      - c. 復元ヨーモーメント/スタティックマージン
      - d. 操安キャパシティ
    3. 安定性
      - a. ステア特性と安定性
      - b. コーナリングパワーの変化
  - ・車両応答の計算例
    1. 車速の影響
    2. 車両諸元の影響
  - ・車両運動性能のフィーリング評価
    1. 知っておくべき人間の基本特性
      - a. 評価の曖昧さ
      - b. 評価尺度の有無
      - c. 素人の評価とプロ(テストドライバー)の評価
      - d. 基本特性の具体例
    2. 操安性における評価方法の具体例
      - a. 応答性
      - b. 安定性
      - c. その他
- 質疑応答【事前アンケートのご質問について解説致します】

お申込・お問合せは

主催 **ISS 産業科学システムズ**  
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675  
E-mail: education@ebrain-j.com

**申込書 FAXは 03-3264-5675**

講座参加申込書 自動車運動性能の基礎とフィーリング評価

セミナーコード

1101-180531

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2018/5/31 ISS

社名	所在地	〒	電話	( )
No.	所属部課(正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	( )
窓口部署			お支払予定	当日持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト( ) その他				